

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地	北九州市八幡東区平野2-5-1
団体名	学校法人 九州国際大学
代表者	理事長 柴田 高博

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)	がっこうほうじん きゅうしゅうこくさいだいがく	
団体名	学校法人 九州国際大学	
(ふりがな)	しばた たかひろ	
代表者氏名	柴田 高博	
所在地	市内事業所	北九州市八幡東区 平野2-5-1
	主たる事業所	九州国際大学・大学院 … 北九州市八幡東区平野1-6-1 附属高等学校・中学校 … 北九州市八幡東区枝光5-9-1
事業概要	・北九州市八幡東区の平野地区と枝光地区にキャンパスを構える学校法人。 ・中学校・高等学校・大学・大学院の課程を有している。	
企業・NPO法人等の別	NPO法人等（企業以外）	
業種（企業のみ）		
従業員数（企業のみ）		
ホームページの有無	有	
ホームページURL	http://www.kiu.ac.jp/	

連絡先

担当部署	法人事務局 総務企画部
担当者	篠原 基之
電話番号	093-671-8900
メールアドレス	E-mail m-shinohara@office.kiu.ac.jp








提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー効率向上のため、キャンパスの全照明設備をLEDに更新済。(2017年~2018年) ⇒ 電力使用量減少に寄与 ・毎年クールビズを推進。(5月~10月) ・本学法学部「環境破壊、どうにかならないの?(山中ゼミ)」 ⇒ 環境問題について、法律・条約を学び、国際貢献に寄与する研究 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール7	具体的な取組
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<ul style="list-style-type: none"> ・学校設備の耐用年数長期化。(年度設備投資計画による) ⇒ 第3期中期経営計画(2019~2023年)ファシリテイマネジメント ⇒ 「修繕から保全へ」というポリシーのもと実行中 【2030年目標】学内施設の長寿命化(使用年数の長期化) 法定耐用年数47年(RC構造) ⇒ 目標使用年数60年 ・紙・段ボール・空き缶・ペットボトル等、リサイクル資源の分別を徹底。 	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	具体的な取組
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					<ul style="list-style-type: none"> ・本学法学部「若松とまとカレープロジェクト(櫻井ゼミ)」(2021年6月設立) ⇒ 北九州の農産物(地産地消)による地元ブランドの製品化を目指す ・各種調達に際し、市内業者を優先して利用する。 ⇒ 具体的な目標を設定して推進【2022年4月取組開始予定】 	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール12	具体的な取組
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<ul style="list-style-type: none"> ・福岡ひびき信用金庫との「包括的連携協定」締結。(2020年1月) ⇒ 第1弾「新たなサービスに関する共同研究」…2021年3月に研究結果発表済 ・八幡法人会・八幡ロータリークラブ等の地域団体に加盟・人員を派遣 ⇒ 地域との密な連携による共存・共栄を目指している 	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール8	具体的な取組
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<ul style="list-style-type: none"> ・WE日給与明細導入予定【2021年11月取組開始予定】 ⇒ 紙使用量削減 ・入学検定料・入学金・学費・着開金等の各種納付金のキャッシュレス清算(クレジットカード決済)を導入予定。【2022年4月取組開始予定】 ・本学サッカー部が、毎月8、18、28日に大学周辺の清掃活動を実施・継続 ⇒ 八幡の「8」のつく日に毎月実施 	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	具体的な取組
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					<ul style="list-style-type: none"> ・「就業規則」第25条で、労働基準法に則り、5日間の有給休暇取得を義務付けている。 ・教職員に対して中期経営計画・年度事業計画等はHPで、就業規則等の全規程はグループウェアでの情報開示により周知徹底。(中計・事業計画は外部も閲覧可能) ・適法な36協定を締結、所轄労働基準監督署に届出済。 ・労働時間管理の徹底・厳正化を目的として「勤怠管理システム」を導入予定。【2022年1月取組予定】 ・「在宅によるテレワーク規程」を整備予定。【2021年10月取組予定】 	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール3	具体的な取組
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					<ul style="list-style-type: none"> ・「育児休業、育児時短勤務、所定外勤務の免除等に関する規程」「介護休業、介護時短勤務、所定外勤務の免除等に関する規程」を整備し、性別を問わず、働きやすい職場環境を提供。 	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール5	具体的な取組
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					<ul style="list-style-type: none"> ・「ハラスメントの防止に関するガイドライン」「ハラスメントの防止及び対策についての指針」「ハラスメントの防止に関する規程」等を整備済。セクシャル・ハラスメント、アカデミック・ハラスメント等をはじめとして、各種ハラスメント防止の啓蒙を継続。 【2030年目標】女性管理職比率の向上(事務職員) 2021年3月現在/4.4% ⇒ 2030年3月/10.0% 	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8			ゴール5	具体的な取組
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					<ul style="list-style-type: none"> ・「在宅勤務によるテレワークに関する規程」9月機関決定。10月施行開始。 ⇒ コロナ感染症拡大防止及び働き方改革の一環 ・「就業規則」(第36条)に年1回の健康診断・ストレスチェックを規定。 ⇒ 結果に問題あれば産業医による面談を実施 ・労働安全衛生法に基づき「安全衛生委員会」を設置。 ⇒ 平野・枝光の各キャンパスに設置、職場環境整備に努めている。 	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	具体的な取組

SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性の高いゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<ul style="list-style-type: none"> ・本学現代ビジネス学部「子ども食堂チーム(村上ゼミ)」 ⇒農林水産省「第5回食育活動表彰」を受賞(2021年4月) ⇒北九州市産業経済局設置の「北九州市農林水産業振興計画」の外部有識者検討会メンバーに選出(2021年7月) ・本学現代ビジネス学部「留学生が行くSDGs旅行(福島ゼミ)」(2021年3月) ⇒日本旅行業協会主催の「海外卒業旅行コンテスト」審査員特別賞を受賞 ⇒コロナで旅中止となり、北九州市内で「ペントウ・ジャーニー」を実施 ⇒子ども食堂とのコラボやSDGs団体への寄附等、SDGsに貢献 ・本学現代ビジネス学部「花鳥小・英語発音ワークショップ(宮武ゼミ)」 ⇒JICA九州との「連携発音協定」(2020年10月締結)による連携事業の一環 ⇒学生による英語発音教室の事前授業を提供 ⇒私立大学等改革総合支援事業(地域連携型)の一環として、毎年「地域課題解決型研究活動報告書」を発行 ⇒北九州市企画調整局と連携して～SDGsを踏まえて～をテーマとして活動 ・本学「地域連携センター」が「人づくり・地域連携・地域研究」に資する活動を継続中。(2013年4月開設・北九州ひとみらいプレスの一員) ⇒「北九州市民カレッジ」「九州国際大学市民講座・市民相談」「北九州市社会福祉協議会穴生学舎シニアカレッジ」等々 ・「職員研修規程」「SD委員会運営に関する規程」を定め、適切に運用。 ⇒年度計画に則り、職員的能力開発・資質向上に寄与する機会を提供 ・北九州市無形民俗文化財「前田祇園山笠」行事への参画 ⇒「さくら祭り(4月)」「前田祇園山笠巡行・観覧会(7月)」等への参画 ・北九州市内の高等学校10校との教育連携事業 ⇒地元企業で活躍する人材育成・地元の人口滞留・地域の活性化 	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17	ゴール4		
				4.4			ターゲット	具体的な取組	
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<ul style="list-style-type: none"> ・「行動規範」第2章で法令順守に関する条項を規定(第4条～第10条) ⇒法令を遵守する体制を整備 ・「個人情報の保護に関する規程」個人情報管理に関する法令順守・個人情報に関する保護についてを規定 ⇒「個人情報保護に関する方針」「情報セキュリティについて」「公益通報について」をHPで社外にも周知・情報開示 ⇒「情報セキュリティポリシー」を策定中【2022年4月取組予定】 	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5			ゴール16		
							ターゲット	具体的な取組	
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV(※)などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<ul style="list-style-type: none"> ・本学現代ビジネス学部「地域防災リーダー育成プロジェクト(村上ゼミ)」 ⇒NHK北九州支局のラジオ番組等で防災に関する情報提供等を継続 ・「BCP(業務継続計画)」を策定中。【2022年4月取組開始予定】 ・「北九州市と学法九州国際大学との防災対策に関する協定」(2014年3月) ⇒本学施設を北九州市の緊急避難場所として提供 ・法学部「地域安全マップ活動(奥ゼミ)」⇒「子供たちを犯罪から守る」 ⇒北九州市・福岡県警・地域の小学校と連携して毎年実施 ⇒「第11回北九州市『暴力追放・安全安心まちづくり』市民大会」で感謝状を受賞(2021年7月) ・事業計画・中期経営計画・HP・学校パンフ等にSDGsの考え方を取り入れた経営ビジョン・教育支援策・地域連携活動等を盛り込んでいる。 ⇒今後は、SDGsというワード・シンボルマーク等を意識的に多用 ⇒本法人のSDGs関連諸活動を積極的に情報開示 	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1	ゴール13		
							ターゲット	具体的な取組	
							13.1	社会(2)ア	

※CSV(Creating Shared Value:共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス(経済的な価値)を創出すること。

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月22日

団体名 学校法人九州国際大学

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

本法人は、地域密着型の総合学園として、その特色を活かし、地域をフィールドとした調査・研究・学習等の諸活動を通じて、地域との連携を深め、地域に必要とされる学園となるために、役員・教職員・学生・生徒が一丸となってSDGsの取組を推進していきます。

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs達成に向けた重点的な取組	指標(KPI) ・目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	本学学生の 市内企業への就職数の増加	指標(KPI)	学生の市内就職数	指標
社会	○		目標値		具体的な取組
環境			2030年 (その他の場合) ()年	2021年 112名 ↓ 2030年 150名	
経済	○	女性管理職比率の向上	指標(KPI)	事務職員の女性管理職比率	指標
社会	○		目標値		社会(1)③
環境			2030年 (その他の場合) ()年	2021年 4.4% ↓ 2030年 10.0%	具体的な取組
経済		学内施設の長寿命化(使用年数長期化)	指標(KPI)	学内施設耐用年数(RC構造)	指標
社会	○		目標値		具体的な取組
環境	○		2030年 (その他の場合) ()年	法定耐用年数 47年 ↓ 目標使用年数 60年	

記載について

- ・ 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・ 必ず全ての分野(経済・社会・環境)の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- ・ 指標(KPI)は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 学校法人 九州国際大学

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています(今後、参加します)。

取組名	具体的な取組内容
99 その他(市と連携した取組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・本学「地域連携センター」(2013年4月開設・北九州ひとみらいプレイスの一員) ⇒「北九州市民カレッジ(北九州市立生涯学習総合センター)」「北九州市社会福祉協議会穴生学舎シニアカレッジ(北九州市立年長者研修大学校)」に講座を編成・提供 ※様式1 No.9 経済・社会(人材育成)
99 その他(市と連携した取組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・本学「地域連携センター」(2013年4月開設・北九州ひとみらいプレイスの一員) ⇒私立大学等改革総合支援事業(地域連携型)の一環として、毎年「地域課題解決型研究活動報告書」を発行。北九州市企画調整局と連携して～SDGsを踏まえて～をテーマとして活動 ※様式1 No.9 経済・社会(人材育成)
99 その他(市と連携した取組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・本学現代ビジネス学部「子ども食堂チーム(村上ゼミ)」 ⇒北九州市産業経済局が設置する「北九州市農林水産業振興計画」の外部有識者検討会メンバーに選出(2021年7月) ⇒今後も、そのメンバーとして活動を継続 ※様式1 No.9 経済・社会(人材育成)
99 その他(市と連携した取組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・「北九州市と学法九州国際大学との防災対策に関する協定」を締結(2014年3月) ⇒本学施設を市の緊急避難場所として提供 ・本学法学部「地域安全マップ活動(姜ゼミ)」⇒北九州市・警察・小学校と連携して「子供たちを犯罪から守る」活動を毎年実施 ※様式1 No.12 経済・社会(持続可能性)

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの(今後取り組むもの)を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。